

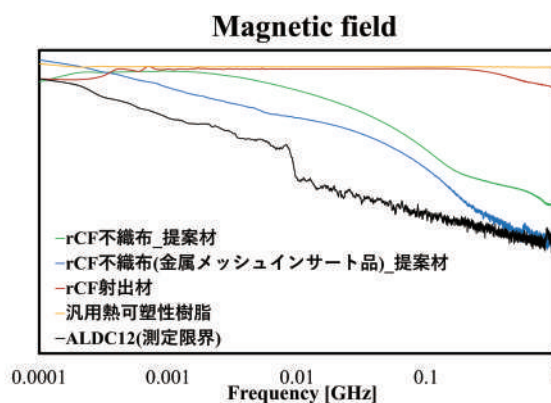
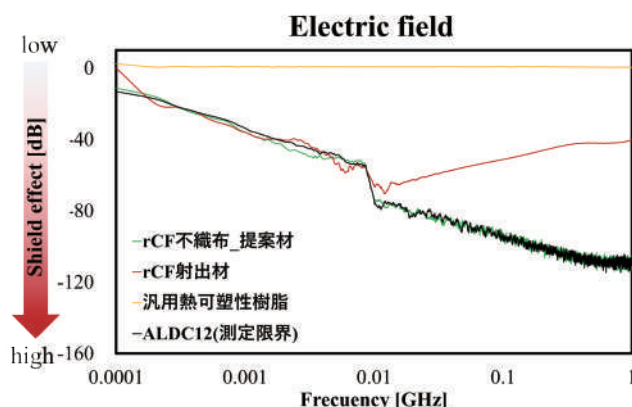
rCFを用いた 電磁波シールド材料

開発中
(2025年上市予定)

CFにより高強度・軽量化と電磁波シールド性の 両立を実現

ユーザーメリット

- ▶ 長い繊維長を生かした大型部材への適用が可能でありインバーター筐体やECU筐体用途を想定
- ▶ 従来のアルミダイキャストから50%の軽量化が可能
- ▶ 電界及び高周波磁界において金属並みの電磁波シールド性



お客様からの声

- ▶ 低周波から高周波までカバーできており、樹脂材料ベースでの電磁波シールド性としてはかなりのもの
- ▶ 二次加工性や耐衝撃性次第では現行のアルミ筐体の代替となりうる

採用実績

- ▶ 開発品のため実績なし
- ▶ インバーター周辺のシールド部品として日系OEM、Tier1を中心に紹介中

その他製品情報

競争優位性	長繊維により電界・磁界ともに高いシールド性
サステナビリティ	リサイクルCFを用いているためバージンCFの約半分のコストで生産が可能
背反懸念事項	金属材料からのコスト上昇が懸念点 またプレス成形前提のため加工メーカーが限られる